

ばんげい 教育ほつにゅーす かわら版

こ みち

教育の小径

2010年

10月号
No.24

今月の花／キンモクセイ
花ことば／謙虚・真実の愛



今月の歳時記

つるべ落とし

つるべ(釣瓶)とは、井戸の水を汲み上げるときに使う桶のこと。桶は井戸の水面向かって真つすぐに早く落ちていきます。秋の西日は、つるべのようにあっという間に沈み、日没になることから、「秋の日はつるべ落とし」と言われています。秋の夕暮れは早いという意味です。



北 俊夫先生
国士館大学教授

今月のテーマ 読書する習慣づくり

- 子どもたちの読書離れ、活字離れが進んでいると言われています。子どもたちに読書する習慣を形成することは教師の重要な責務です。
- 読書は知識を豊かにするとともに、感性を研ぎ澄ませ、想像力や思考力、表現力を育てます。読書する習慣は、人間形成にとって重要な役割を担っています。

子どもの読書離れに歯止めを

子どもの読書離れ、活字離れが言われて久しくなりますが、文部科学省などの調査によると、小学生の読書量が少しずつ増加してきているという結果も出ています。これは、学校で朝読書の時間を設定したり、地域ボランティアによる読み聞かせを実施したりするなど、読書推進の取り組みの成果であると思われます。ところが、1カ月の平均読書冊数が少ない子どもがいることや、1冊も読まない子どもが見られることなど、読書離れの問題はまだまだ解決していません。

平成13年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されました。平成17年には「文字・活字文化振興法」が施行されました。また学習指導要領には、学級活動の時間に「学



校図書館の利用」について指導するよう示されています。

子どもたちに読書する習慣を形成することは、教師の責務であり、学校に課せられた重要な役割です。

読書の楽しさを味わわせたい

読書の習慣づくりにとって大切なことは、本を読むことに楽しさと意義を感じさせることです。読書は、単に新しい知識や情報を得るだけではありません。自らの心を和ませてくれます。童話や物語では、登場人物に感情を移入することにより、自らの世界を創り出し、心を豊かにしてくれます。

読書の好きな子どもは、豊富な知識をもち、感性が豊かです。想像力や思考力や表現力にも優れています。その意味で、読書する習慣は人間形成と深くかかわっています。すべての子どもたちに生涯にわたって読書し続けようとする意欲と習慣を形成することが求められています。

読書の楽しさは、一人一人が自ら体験することによって味わうものです。そこでは適切な図書と場所が用意されているという物的な環境や、時には読

書する仲間や指導者がいるという人的な環境が重要な意味をもちます。学級や学校に読書を重視する雰囲気醸成することも大切な要件です。

習慣づくりのポイント

読書の習慣づくりには、教師の働きかけが必要です。読書にいざなうために、教師やボランティアによる読み聞かせがすでに実践されています。朝読書のように、毎日決まった時間を設定して、全員が読書することは習慣づくりに効果的です。

子どもの負担にならない範囲で、読書した図書を友だちに紹介する機会を設けたり、読書日記に記録させたりする方法もあります。

学校での読書は、朝の会や国語科など特定の時間だけではなくありません。社会科や理科、生活科や家庭科、さらには総合的な学習の時間にも、学校図書館を利用した調べ学習を位置づけるようにしたいものです。教師自身が読書に親しみ、自らの体験談を子どもたちに語ることもよいでしょう。子どもたちと一緒に読書し、教師の姿を見せることはとても大切です。

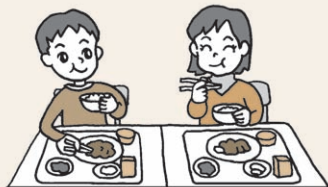


学校給食は学校生活において、ほぼ毎日位置づいています。準備から後片付けまでの時間を45分間とすると、国語科の年間授業時数に次いで多くの時間が費やされています。

学校給食は単なる食事の時間ではありません。教師が意図的に指導する時間です。教育的に活用しない手はありません。学習指導要領に示されているように、学級活動の時間に行われる「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」についての指導と関連づけて、食に対する実践的な態度や行動力、感謝する心を育てます。

学校給食を生きた教材として活用することが求められています。給食の食材をもとに、社会科で地域の農家の仕事を調べさせることができます。また献立から、栄養や栄養素について学ばせることができます。各地の郷土料理やわが国の行事食については、総合的な学習の時間に追究させることもできます。

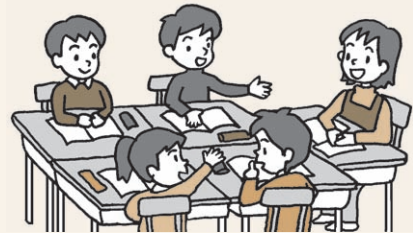
指導に当たっては、食の専門家である栄養教諭や学校栄養職員の協力を得るようにします。



子どもの学習状況の評価は、一般に教師によって行われています。ここでは、教師の設定した規準で子どもを観察し、評価されます。教師は子どもにとって他者ですが、教室には「もう一人の他者」がいます。それは友だちです。友だちとの間で評価し合うこと、これが子どもの相互評価です。

「〇〇さんは平行四辺形の面積を求める公式を使って、台形の面積を求める方法を考えました。とてもよかったです。」「いつも発言しない〇〇君が、今日は頑張って自分の考えを発表しました。」など、友だちのよさや頑張りを認め、称賛することは、学校ならではの「協同的な学び」の具体的な姿です。

授業の場で、友だちの考えや学習の仕方を評価したり批評したりしながら学習に参加することは、互いに認め合い、支え合い、学び合う豊かな人間関係をつくるうえでもとても大切なことです。ただし、友だちの意欲を喪失させたり、非難したりする発言は慎むよう、厳しく指導する必要があります。教師の指導と対応能力が問われます。



子どもたちの学力を向上させるためには、一人一人に応じた手厚い指導が欠かせません。学習指導要領の総則には、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導のほか、「学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導」を工夫することを奨励しています。

個に応じた指導は、習熟度別学習だけではありません。習熟度別学習に適さない教科や教材では、子どもの興味・関心を重視した指導を行います。

個に応じた指導は同質の少人数の集団を構成して行われるだけでもありません。30人を越えた多人数を対象にした一斉指導においても、一人一人に目配りし、個に応じた指導や個別的な配慮が求められます。

学級通信に使える今月のイラスト



秋の味覚



ハロウィン

編集後記

秋の夜長、好きな飲み物を口にしながらページをめくって本の世界に浸る。ほかには代えがたい無上のひと時です。読書の喜びを一人でも多くの子どもの手に伝えたい。そのために何をすればよいか？ 先生方だけでなく、出版を生業とする私たちにとっても喫緊の課題です。(H記)



企画・編集 ばんぺい教育研究所
発行：株式会社文溪堂 発行日：2010年10月1日

Information (PR)

指導と評価をサポート!



新しい指導計画作成のための
目標分析と具体的評価規準

◎監修 梶田毅一 ◎定価 1,800円(税込)
◎付録 CD-ROM(評価規準シート)
A4判・272ページ・2色

改訂 **実践教育評価事典**

◎監修・著 梶田毅一 加藤 明
◎定 価 2,520円(税込)

B5判・264ページ・1色



発行 株式会社文溪堂